



土地区画整理事業によるまちづくり

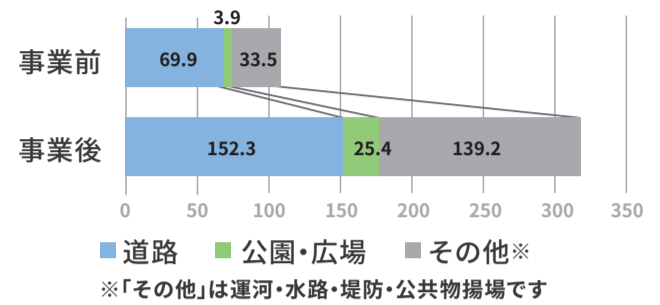


事業目的

戦前の市街地は不規則で狭い道が多く、公園は不足していました。そのため、まちをそのまま復旧するのではなく、土地の入れ替えを行うことで、土地を有効活用し、道路、公園、学校、その他の公共施設を適切に配置することで、安全安心なまちをつくることを目的としていました。

また、事業区域一体が地盤沈下のため台風のたびに大きな高潮被害を被っていたことから、地盤を盛土^{もりどかさあ}高上げすることで、水害から人命や家屋を守ることも目的としていました。

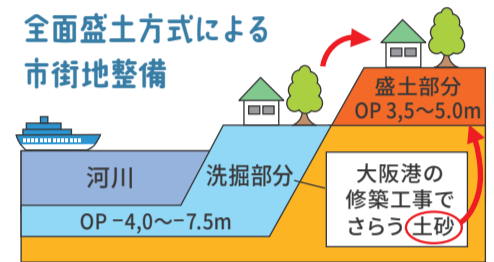
事業前後の公共施設の面積の変化(ha)



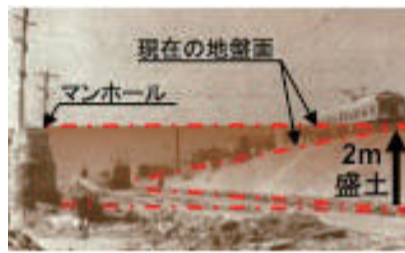
事業内容

「港地区復興土地区画整理事業」は1948(昭和23)年から1992(平成4)年まで実施され、安治川の拡幅など大阪港の修築事業によって生じた土砂を使い、区域のおよそ9割を約2m盛土した、世界でも類を見ない大規模な土地区画整理事業でした。築堤→送砂→自然乾燥→整地→道路築造→建物移転の順に、地盤の高上げと都市基盤の整備を進めてきたことによって、長年にわたり高潮被害に悩まされてきた港区は、災害に強いまちへと生まれ変わり、まちの価値が大きく向上しました。

大阪港の内港化と全面盛土方式による市街地整備



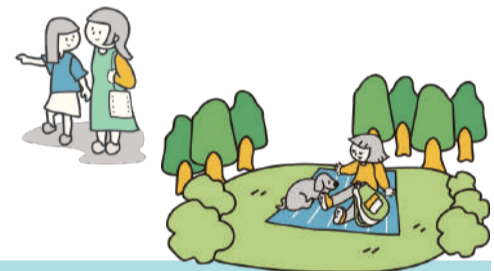
土砂を送り盛土する様子



盛土工事の過程(八幡屋付近)



築港深江線(中央大通)と地下鉄中央線高架の工事の様子



安全安心で快適なまちへ

南北道路を中心に発達してきた戦前の市街地に対し、新しい東西軸となる築港深江線(中央大通)、港区東部を縦断する尼崎平野線(国道43号)をはじめとする、新たな都市の骨格となる道路が整備されました。また、土地区画整理事業によって八幡屋公園を含む26箇所の公園が整備され、みなさんの憩いの場となっています。



現在の弁天町駅付近の様子



八幡屋公園

港区土地区画整理記念・交流会館 施設概要

3階の連絡通路からOsaka Metro弁天町駅や、大阪みなと中央病院にアクセスできます。

- 8F 港区民ホール (港区画整理記念ホール)
- 7F
- 6F 港区民センター
- 港区老人福祉センター
- 5F 港区子ども・子育てプラザ
- 4F 港図書館・区画整理記念スペース
- みなとラウンジ (多目的交流スペース)
- 港区民センター
- 3F 調剤薬局/コンビニエンスストア
- 2F 駐輪場
- 1F 駐車場



港区民ホール(港区画整理記念ホール)



みなとラウンジ(多目的交流スペース)

次号では各施設を詳しくご紹介します!



所在地: 港区磯路1丁目7-17